（様式2） 実行計画管理シート

事業名	124-1	枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業	部・課	市駅周辺等活性化推進部 市駅周辺等活性化推進部

総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等		18　人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
	施策目標		5　人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	枚方市駅周辺再整備では、これまで検討を行ってきた枚方市駅周辺再整備ビジョンを早期に具体化し、再整備の道筋を確実なものとする。新庁舎の整備については、官公庁団地エリアで国・府・市による庁舎の一体的整備に向けて、民間施設との合築も含めた検討を行い、市民生活を総合的にサポートする拠点の新たな形を示し、その実現に向け取り組みを進める。さらに、現在の市民会館や庁舎敷地などで民間活力の導入を見据えた魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致など、賑わいを取り戻すための検討を行う。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	まちの将来像を見据え、大阪府住宅供給公社枚方団地や京阪電鉄枚方事務所、旧長崎屋枚方店を含む街区については、駅前広場の拡充や防災面などにすぐれた魅力あるまちづくりを一体的に、かつ、できる限り早期に進めるため、市民・事業者等の理解をさらに深めながら市街地再開発事業の事業化に向け取り組むとともに、平成30年度を目標に都市計画決定をめざす。併せて、旧三越枚方店を含む街区については、市民・事業者と連携・協力しながら、駅前広場の拡充や賑わいの創出につながる土地利用の具体化に向け取り組みを進める。特に官公庁団地を含む街区においては、公的ストックの活用モデルとなるよう、国や大阪府と連携・協力しながら、民間施設を含む庁舎の一体的整備に向けて、財政負担の軽減などさまざまな角度から効率的・効果的な整備手法を検討する。現市民会館の跡地を含む街区への民間活力導入を検討し、魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致を働きかける。これら枚方市駅周辺再整備を全体的かつ円滑に推進していくためには、市民・事業者等をはじめ多様な主体との協働が必要であり、そのため、現在、北大阪商工会議所と協力して取り組んでいる枚方市駅周辺活性化検討準備会を発展させるなど、新たな協議会組織の立ち上げを進める。併せて、庁内体制の強化を図るため、戦略監を枚方市駅周辺再整備の総合調整担当に位置づける。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	枚方市駅周辺地域が、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちとなるよう地域に関わる方々と連携を図りながら、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けた取り組みを進める。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		枚方市駅周辺再整備ビジョン策定後、その具体化を図るため、平成26・27年度の2ヵ年で市街地整備や交通環境改善に係る調査検討業務を発注し、地元権利者等と意見交換を行いながら、ビジョンの具体化に向けた検討や地元検討組織等の設立に向けた支援を行ってきた。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①地元権利者や関係機関とともに協議・検討してきた内容をもとに、「枚方市駅周辺の将来のまちの姿」の一例をイメージ図として公表し、市民会館・市役所庁舎が含まれる街区及びその周辺区域について、民間活力導入を検討するための検討パートナーの公募を行い、具体的な検討を行う。 ②官公庁団地が含まれる街区及び大阪府住宅供給公社等が含まれる街区については、市街地再開発事業に係る権利変換及び事業計画モデルを作成する。 ③その他街区については、引き続き地元検討組織等への支援を行う。
	実績（評価）	①平成28年6月に枚方市駅周辺の将来イメージについて、全体整備イメージ図やイメージパンフレットを公表した。平成28年10月に京阪HD㈱及び㈱ソウ・ツーと締結した三者協定や北大阪商工会議所が中心になり、市と協力して設置した枚方市駅周辺活性化協議会により、土地利用やエリアマネジメントの推進に向けて検討を行った。 ②平成28年7月契約の業務委託により、権利変換及び事業計画モデルの複数パターンを作成し、最適モデルについて検討を行った。 ③平成28年7、8月に、全体イメージ図等を用いてまちづくりのイメージを説明した。

2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行う。 ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行う。 ②ひらかたサンプラザビル及び旧三越が含まれる街区の地元検討組織等への支援を行う。 ③各協議体を活用しながら、民間活力導入について事業実現化に向けた検討を行う。
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ②→推進
	実績（評価）	
2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ②→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	枚方市駅周辺再整備ビジョンのさらなる具体化に向けて、新庁舎の整備については、合同庁舎化に向けて国・府と連携しつつ、まちづくり全体を見据えて検討を進めるているが、整備の方針を公表する時期や内容、表現について国・府・市と足並みをそろえる必要がある。		
今後の対応	新庁舎整備の検討及び方針の公表については、国・府と十分に連絡・調整を行い進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
枚方市駅利用者の市域人口に対する割合	○	22.4	23.0					－	%
指標の説明		指標の実績（評価）							
枚方市駅の乗降客数（日あたり）／市域人口		・本市人口の現状として、自然減・社会減の状態が続いており、平成27年度実績においても市域人口が減少しているが、それ以上に乗降客数が増加したことから、指標が増加したと考えられる。 ・平成28年度の実績については、平成30年3月頃に確認できる予定である。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
枚方市駅周辺の人口		2,243	2,505					－	人
指標の説明		指標の実績（評価）							
枚方市駅周辺再整備ビジョンの範囲（新町1丁目、新町2丁目、大垣内町2丁目、川原町、岡本町、岡東町）における人口		・エリア内に分譲マンションが新築される等の影響によりエリア内の人口が増加したと考えられる。 ・平成28年度の実績については、平成30年3月頃に確認できる予定である。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）